

ねんど
2015年度

せかい こ にほんご すいしんじぎょう
世界の子ども日本語ネットワーク推進事業

だい かい かいがいじ どう にほんたいけん
第6回「海外児童日本体験プログラム」

かいがいこう おうぼうこう
海外校 応募要項

たび らいねん じっし かいがいじ どう にほんたいけん おうぼうけつけ かいし
この度、来年に実施する「海外児童日本体験プログラム」の応募受付を開始しましたので、
ここにご案内いたします。

こんかい だい かい むか ますますじゅうじつ ないよう みなさま むか
このプログラムも今回で第6回を迎え、益々充実した内容で皆様をお迎えいたします。
たくさんのお応募をお待ちしています。

ねん がつ にち
2014年2月17日

子どもたちと、未来のあいだに

博報財団
HAKUHO FOUNDATION

1. 目的

国際社会では、それぞれの国の生活や文化の多様性を理解し、認め合うことが重要です。この事業では、日本語を大切にしながら、異文化体験や国際交流を通じて、日本の生徒と海外の生徒がお互いの理解を深め、国際人として成長する機会を提供することを目的としています。

2. プログラム概要

「海外児童日本体験プログラム」は学校が応募するプログラムです。このプログラムは海外で日本語を学ぶ生徒と引率する教師を日本へ招待して、同世代の日本の学校の生徒と日本語による交流や異文化体験を行います。

□ 海外児童日本体験プログラム

- (a) 期間：2015年4月17日(金)～4月30日(木)<予定>
- (b) 体験内容：学校訪問、ホームステイ、文化・社会体験、交流イベントなど
- (c) 募集校数／参加人数：最大14校／1校あたり、生徒4名と引率の教師1名の計5名
- (d) 支給内容：日本までの往復航空運賃、出国税・空港利用税、査証代、日本滞在中の宿舎・食事・活動費(研修費、交通費を含む)、海外旅行保険の付与

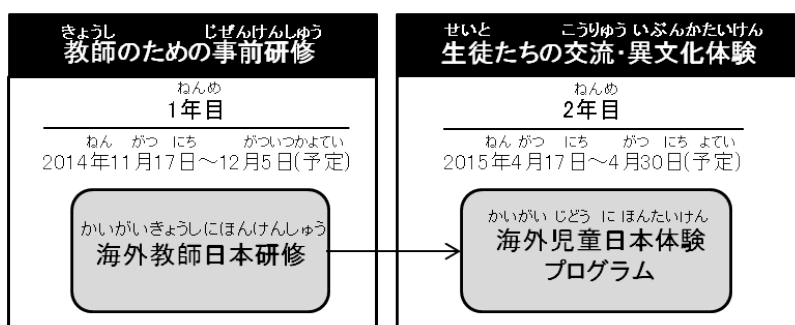
このプログラムをより多いものにするために、プログラムの実施前年には、引率する教師を日本へ招いて事前研修を行います。

※ 「海外児童日本体験プログラム」への参加決定と同時に、この研修への参加も決定します

□ 海外教師日本研修

「海外児童日本体験プログラム」に参加する学校から引率の教師が来日し、プログラムの実施に向けて、生徒の日本語学習への意欲向上、来日・交流に向けた生徒への指導法、カリキュラムの事前体験などの研修を行います。

- (a) 期間：2014年11月17日(月)～12月5日(金)<予定>
- (b) 研修内容：来日に向けた生徒への指導法、学校訪問や日本の文化・社会体験の事前体験 など
- (c) 支給内容：日本までの往復航空運賃、出国税・空港利用税、査証代、日本滞在中の宿舎・食事・活動費(研修費・交通費を含む)、海外旅行保険料



3. 応募条件

応募する学校は以下の条件を満たすこと。

- ◇ 行政によって正式な教育機関と認められている学校であること。
 - ◇ 「海外児童日本体験プログラム」の対象となる12歳～16歳の生徒に、正規の授業として日本語を指導していること。
 - ◇ 必要に応じて、国・関係諸官庁などからプログラム・研修への参加許可を得られること。
 - ◇ 参加が決定したプログラムと研修の準備・実施に積極的・協力的に関われること。
※ 過去に本プログラムに参加した学校も応募できますが、第5回の参加校は応募できません
 - ◇ 引率する教師を本プログラム、並びに事前研修の両方へ派遣できること。
 - ◇ 学校は以下の条件を満たす引率の教師を選ぶこと。
 - ・応募校と雇用関係にある日本語教師で、プログラム終了後まで応募校に勤務することが決まっていること
 - ・本プログラム、並びに事前研修の両方へ参加できること
 - ・応募時点で日本語能力試験のN3、または旧2級程度以上の日本語能力があること
 - ・日本の義務教育(小学校～中学校の9年間)を修了した者でないこと
 - ・心身ともに健康であること
- ※ 参加決定後に財団で加入する海外旅行保険の給付対象とならない場合(例えば、妊娠・出産など)には、参加資格が取り消されることがあります

4. 応募手続

(1) 提出書類

(a) 参加申請書

所定用紙に指定の言語で記入して下さい。

※ 「参加申請書1」には必ず所属教育機関長(学校長)による直筆の署名が必要です

※ 「参加申請書1」「参加申請書2」は記入者や記入方法の指定はありませんが、「参加申請書3」は必ず引率する教師が手書きして下さい

※ 指定どおりに書かれていない場合や学校長の署名が無い場合は無効となります

(b) 日本語能力認定書

引率する教師が日本語能力認定書を持っている場合は、そのコピーを参加申請書と共に提出して下さい。

(c) 日本語運用力自己診断シート

引率する教師が所定用紙に記入して参加申請書と共に提出して下さい。

(2) 申請書類の入手方法

参加申請書は、当財団のホームページ (URL: <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/>) から入手できます。

うけつけきかん ていしゅつさき
(3) 受付期間と提出先

うけつけきかん ねん がつ にち げつ がつ にち きん していていしゅつさき ひつちやく
受付期間：2014年2月17日(月)～4月18日(金) 指定提出先、必着

※ 指定提出先は4ページ以降を参照ください

※ 2014年4月18日(金) 指定先到着分まで有効

※ 応募書類は必ずご郵送下さい。FAX やEメールなどでの応募は受け付けておりません

せんこうほうしん しんさ
5. 選考方針・審査

ていしゅつ おうぼしよるい ざいだん そしき しんさいいんかい げんせい せんこう おこな
提出された応募書類をもとに、財団が組織する審査委員会で、厳正に選考を行います。

なお、審査内容とその過程は非公開とします。

◇ 参加動機・目的が明確で、本事業の趣旨に適したものであること。

◇ 日本校との交流効果が期待できること。

◇ 交流効果を高めるための課題を、引率する教師がしっかりと認識できていること。

◇ 引率する教師がプログラム実施に支障のない日本語能力を有していること。

◇ その他、このプログラム参加にふさわしいと審査委員会で認められること。

ごうひつうち
6. 可否通知

しんさけつか ねん がつ ぶんしよ ごうひ つうち
審査結果は、2014年6月に文書で可否を通知します。

なお、審査結果に関する個別の問い合わせには応じかねますのでご了承下さい。

がっこうじょうほう こうかい
7. 学校情報の公開

さん か こう けつてい ばあい がっこうめい じょうほう ざいだん ほか こうひよう
参加校に決定した場合、学校名などの情報は財団ホームページ他にて公表されます。

こじんじょうほう とりあつかい
8. 個人情報の取扱い

(1) 提出された申請書類に記載された学校及び個人情報は、財団が厳重に管理し、選考、可否通知の発送、
プログラム実施、ならびに、これらに関する財団の活動紹介・案内の目的で使用いたします。

(2) 提出された申請書類及び関連書類は一切返却いたしません。

(3) 審査及びプログラム実施のため、応募書類を外部の有識者に提示する場合があります。

※ 応募した学校ならびに個人は、上記の目的で財団が情報を利用することに同意したものとみなします

※ 財団の個人情報保護への取り組みについては、以下のウェブサイトをご覧ください

<http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/privacy/index.html>

<参考> 世界の子ども日本語ネットワーク推進事業

この事業では、今回募集する「海外児童日本体験プログラム」と「海外教師日本研修」の他に、日本の学校の生徒が海外校を訪問する「日本児童海外体験プログラム」も行っています。

□ 日本児童海外体験プログラム

日本の生徒が海外の学校を訪問し、同世代の海外の生徒と日本語を通じて交流や異文化体験を行います。

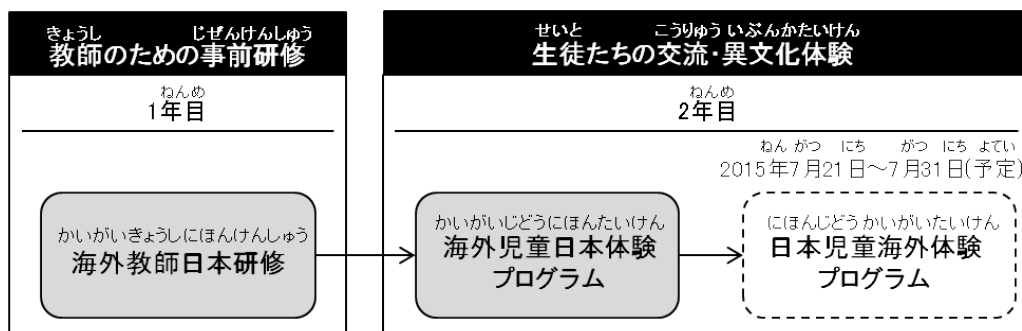
※ 日本校を受け入れる海外校は、「海外児童日本体験プログラム」の参加校の中から1～2校にご協力をお願いする予定です

(a) 期間: 2015年7月21日(火)～7月31日(金) <予定>

(b) 体験内容: 学校訪問、ホームステイ、交流イベントなど

(c) 日本校数: 1～2校

(d) 支給内容: プログラム内の活動費(交通費を含む)、日本校を受け入れるために必要な諸経費



■イギリス：国際交流基金 ロンドン日本文化センター (<http://www.jpj.org.uk/>)

The Japan Foundation, London
Russell Square House 6F, 10-12 Russell Square, London WC1B 5EH, United Kingdom
TEL: +44-20-7436-6695 / FAX: +44-20-7323-4888

■インド：国際交流基金 ニューデリー日本文化センター (<http://www.jfindia.org.in/>)

The Japan Foundation, New Delhi
5-A, Ring Road, Lajpat Nagar-IV, New Delhi, 110024, India
TEL: +91-11-2644-2967・2968 / FAX: +91-11-2644-2969

■インドネシア：国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター (<http://www.jpj.or.id/>)

The Japan Foundation, Jakarta
Summitmas I, 2-3F, Jalan Jenderal Sudirman, Kav. 61-62, Jakarta Selatan 12190, Indonesia
TEL: +62-21-520-1266 / FAX: +62-21-525-1750

■スリランカ：スリランカ日本語教師会 (<https://ja-jp.facebook.com/JALTALK>)

The Japanese Language Teachers' Association of Sri Lanka
C/O, Mrs. Nayomi Wijesekara, The Librarian, Embassy of Japan, 20, Gregory's Road, Colombo-07, Sri Lanka
TEL: Person in charge +94-77-6488700, President +94-713-559-821
FAX: Embassy of Japan +94-11-2698629

■タイ：国際交流基金 バンコク日本文化センター (<http://www.jfbkk.or.th/>)

The Japan Foundation, Bangkok
Serm-Mit Tower, 10F, 159 Sukhumvit 21 (Asoke Road), Bangkok 10110, Thailand
TEL: +66-2-260-8560～8564 / FAX: +66-2-260-8565

■台湾：呉鳳科技大学 応用日本語学科 (<http://www.wfu.tw/>)

台湾嘉義県民雄郷建国路二段 117 号
TEL: +886-5-226-7125 #61602 / FAX: +886-5-22386

■ドイツ：国際交流基金 ケルン日本文化会館 (<http://www.jki.de/>)

Japanisches Kulturinstitut
(The Japan Cultural Institute in Cologne (The Japan Foundation))
Universitätsstrasse 98, 50674 Köln, Germany
TEL: +49-221-9405580 / FAX: +49-221-9405589

■トルコ：土日基金文化センター (<http://www.tjv.org.tr/>)

The Turkish Japanese Foundation Culture Center
Ferit Recai Ertuğrul. Cad. No.2 Oran, Ankara, Turkey
TEL: +90-312-491-1748 / FAX: +90-312-491-1752

■ハンガリー：国際交流基金 ブダペスト日本文化センター (<http://www.jfbp.org.hu/>)

The Japan Foundation, Budapest
Oktogon Ház 2F, 1062 Budapest, Aradi utca 8-10, Hungary
TEL:+36-1-214-0775・0776 / FAX:+36-1-214-0778

■ベトナム：国際交流基金 ベトナム日本文化交流センター (<http://jpf.org.vn/>)

The Japan Foundation Center for Cultural Exchange in Vietnam
No. 27 Quang Trung Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam
TEL:+84-4-3944-7419・7420 / FAX:+84-4-3944-7418

■マレーシア：国際交流基金 クアラルンプール日本文化センター (<http://www.jfkl.org.my/>)

The Japan Foundation, Kuala Lumpur
18th Floor, Northpoint Block B, Mid-Valley City, No.1, Medan Syed Putra, 59200, Kuala Lumpur, Malaysia
TEL:+60-3-2284-6228 / FAX:+60-3-2287-5859

■モンゴル：モンゴル・日本人材開発センター (<http://www.japan-center.mn/>)

Mongolia-Japan Center for Human Resources Development
The Mongolia-Japan Center Bldg., P.O.Box 46A-190, Ulaanbaatar, Mongolia
TEL:+976-11-310879 / FAX:+976-11-317528

■ルーマニア：ルーマニア日本語教師会 (<http://kyoushikai.wordpress.com/>)

The Association of Japanese Language Teachers in Romania (APJR)
C/O Magdalena CIUBANCAN, President
Str. cpt. Nicolae Licaret nr. 4 bl. 51 ap. 36 sect. 3, 031642 Bucharest, Romania
TEL:+40-721-626-364 / FAX:+40-767-395-378

■ロシア：全ロシア国立外国文献図書館「国際交流基金」文化事業部（モスクワ日本文化センター）

(<http://www.jpfmw.ru/>)

The Japanese Culture Department
“Japan Foundation” of the All-Russia State Library for Foreign Literature
4th Floor, Nikoloyamskaya Street, 1, Moscow, Russian Federation, 109189
TEL:+7-495-626-5583・5585 / FAX:+7-495-626-5568

■その他の国：博報財団 (<http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/>)

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT新館 8階
TEL:+81-(0)3-5570-5008 / FAX:+81-(0)3-5570-5016
E-mail:office@hgnet.jp

このプログラムは、国際交流基金、国際日本語普及協会、呉鳳科技大学、スリランカ日本語教師会、土日基金文化センター、
モンゴル・日本人材開発センター、ルーマニア日本語教師会の協力によって実施されています

博報財団(正式名称：公益財団法人博報児童教育振興会)は、1970年に設立された財団法人博報児童教育振興会を母体として公益認定され、2011年4月に公益財団法人としてスタートしました。

次代を担う子どもたちの豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成事業」「国際日本研究フェロシップ」「世界の子ども日本語ネットワーク推進事業」など、「ことば」「文化」の領域を中心に児童教育の支援につながる活動を行っています。

公益財団法人 博報児童教育振興会 HAKUHO FOUNDATION

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT新館 8階

Tel 03(5570)5008 Fax 03(5570)5016

<http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/>